

Fujitsu Software

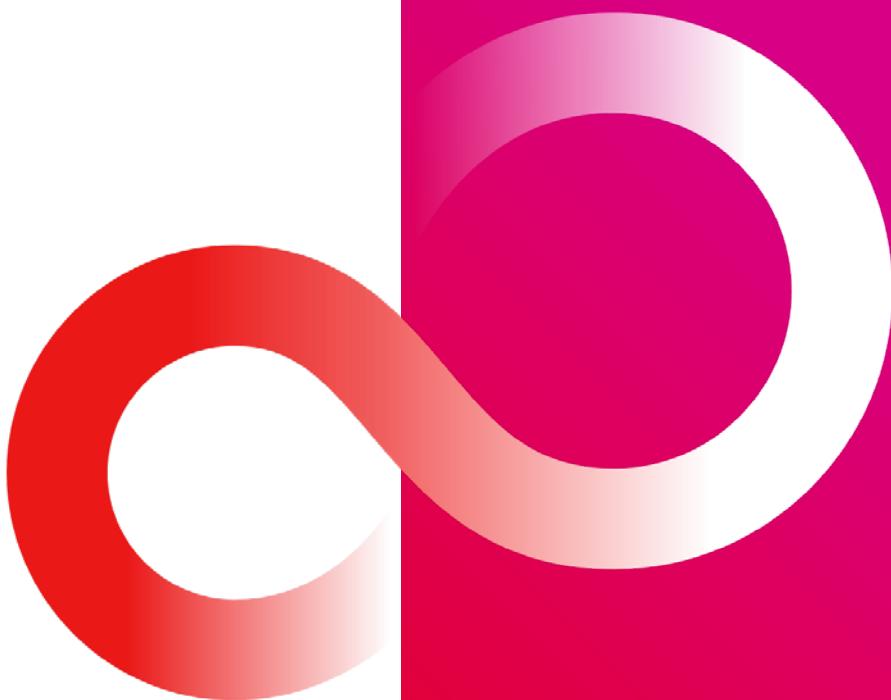
システムウォーカーセントリックマネージャー

Systemwalker

Centric Manager

システムの導入／監視／
トラブル復旧／評価を支援する
統合管理

FUJITSU



Fujitsu Software Systemwalker for Oracle

Oracle データベースの集中監視、トラブル復旧支援

Fujitsu Software Systemwalker Live Help

パソコンやサーバのリモート操作

業務の安定稼働と、低コスト運用を実現する Systemwalkerライフサイクル管理ソリューション

こんな問題ありませんか？

トラブルを素早く 復旧したい

- ・トラブル発生箇所と影響範囲を早期に発見したい
- ・トラブル復旧を迅速化したい
- ・トラブルの原因究明までの期間も短縮したい

Systemwalkerで解決！

安定稼働

わかりやすい監視
と復旧支援

操作トラブルから システムを守りたい

- ・不用意な操作からのトラブルを防止したい
- ・不正な操作からシステムを守りたい
- ・監視業務の継続性を高めたい

あんしん

セキュリティ対策と
高信頼な監視

導入を容易にしたい

- ・早くシステムを構築したい
- ・システム拡張時のサーバ追加やシステム変更にも早く対応したい

かんたん

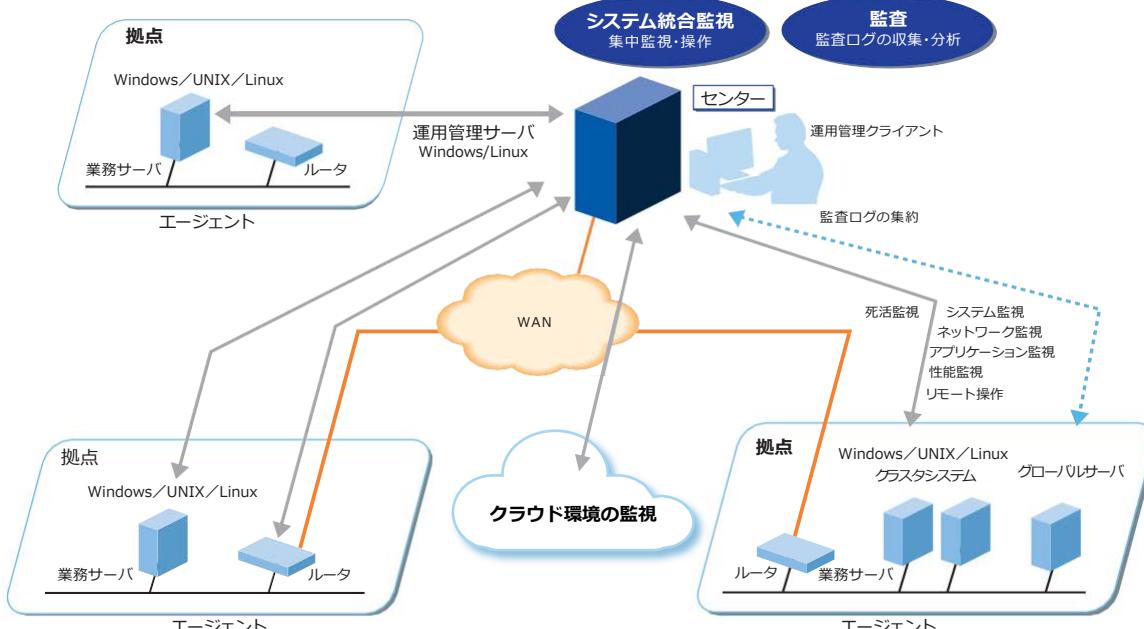
必要な機能を
オールインワンで提供

ライフサイクル管理とは？

ICTシステムをポリシー*に基づいて運用管理するうえで、システムの導入・設定から稼働監視、トラブル対応(復旧)、運用評価・分析までの一連の運用業務をいいます。

*ポリシー：管理者が策定した情報システム全体を効率よく、維持・管理するための運用方針のことです。

適用イメージ



導入のポイント

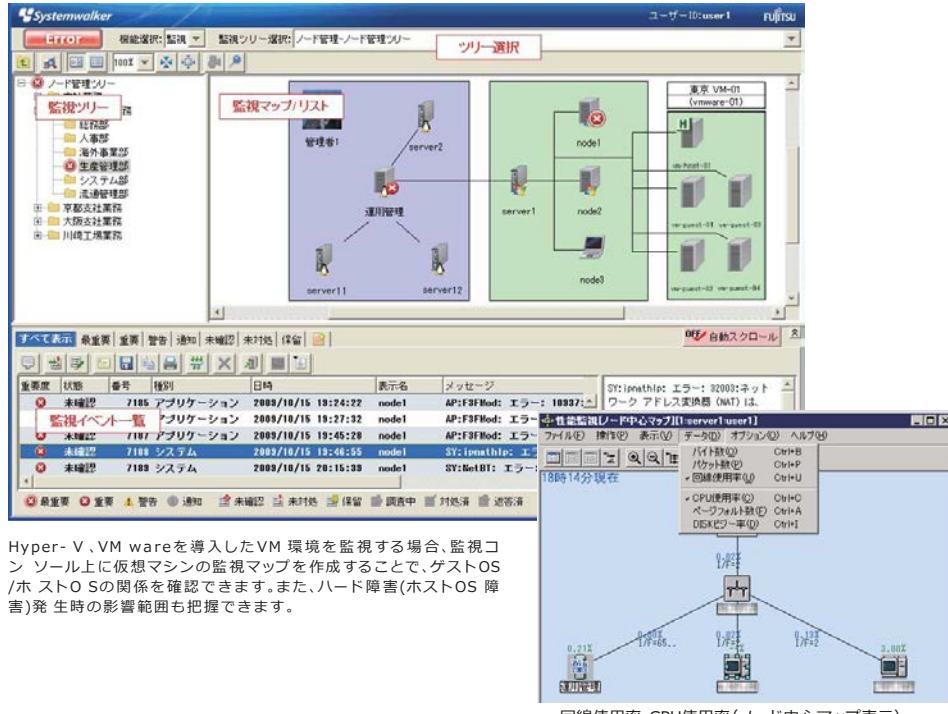
- オープン環境・クラウド環境やメインフレーム環境、クラスタシステム、ストレージ、ネットワーク機器などを1画面で集中監視。異常は、E-mailなどでも通知
- ウィルス監視ソフトやOracleデータベースなどと連携し、各種ミドルウェアも集中監視
- 通知された異常メッセージをもとに対処方法の調査やリモートからの直接障害対処
- 各システム上で記録される詳細ログやパソコンの操作ログを集約して一元管理
- 稼働中のシステムでもインストールレス型エージェントで一元管理

効果

- 各種OSやミドルウェアの監視ツール／画面を使いわける必要がなく、管理者の監視作業負荷を削減
- 異常発生時は、E-mailや音声などリアルタイムに通知されるので、トラブルを迅速に対処可能さらに、しきい値監視によるトラブルの事前対処や自動対処により、システムの安定稼働を実現
- 管理者は自席や移動先でも管理作業が可能
- 日本版SOX法などの法令化に対応するための、様々なログ監査が可能
- 安心して稼働中のシステムの監視を実現

安定稼働「わかりやすい監視と復旧支援」

わかりやすい監視画面



Hyper-V、VMwareを導入したVM環境を監視する場合、監視コンソール上に仮想マシンの監視マップを作成することで、ゲストOS/ホストOSの関係を確認できます。また、ハード障害(ホストOS障害)発生時の影響範囲も把握できます。

大規模環境での迅速なトラブル解決

Windowsや各種Unix、Linux、メインフレームなど、マルチプラットフォーム環境の統合運用管理が可能です。各サーバやルータ、アプリケーションなどの稼働状態や異常メッセージが全て統合監視画面で確認でき、さらに、詳細状況の確認やトラブルの対処など、一連の運用管理作業も統合監視画面から操作できます。また、ハイブリッド・クラウドの環境なども、統合的な監視が可能です。

障害に関連する監視事象

- ネットワーク性能／サーバ性能のしきい値超え
- SNMPトラブルで通知される異常
- イベントログやシステムログ
- テキスト形式の任意のログ

稼働中のシステムも安心して管理

インストールレス型エージェント監視*の利用で稼働中のシステムを変更せず、もれなく統合監視ができます。

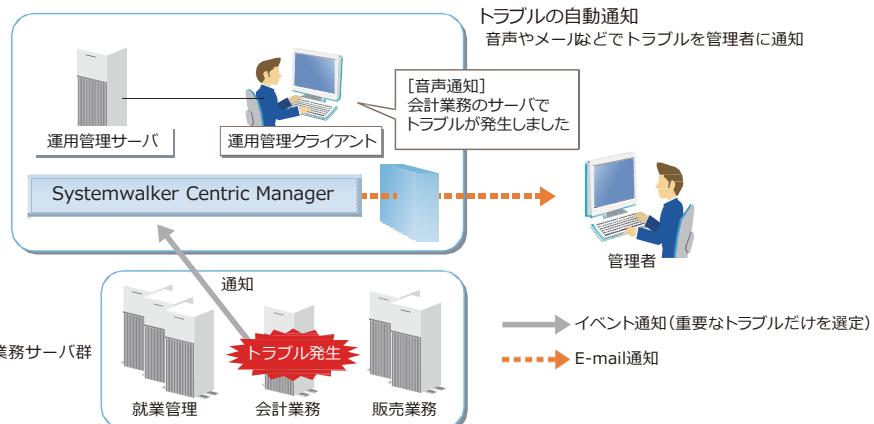
*:被監視システムに対して、Fujitsu Software Systemwalker Centric Managerをインストールすることなく、運用管理サーバ／部門管理サーバからシステムを監視する形態です。

わかりやすく通知して迅速対処

複数のメッセージを集約したり、同一メッセージの出力を抑止することができます。イベントが多くても、不要なメッセージを出力することなく、また分かり易いメッセージにカスタマイズできますので、運用管理者は迅速な対処が可能です。

運用・管理者に配慮した通知

検知された異常メッセージはさまざまな方法で管理者に通知できます。重要なトラブルは音声やパトライトで通知したり、夜間発生したトラブルはメールで担当者に通知するなど、メッセージの内容や管理者の行動パターンにあわせて、通知方法を複数組み合わせることも可能です。



クラウド環境の変化にとらわれない監視

オンプレミスもパブリッククラウドも1つのコンソールで集中監視することで、ハイブリッドクラウドの運用管理が煩雑となる弱点を解消し、安定稼働とコスト削減を実現します。また、Open監視強化テンプレートを利用すると、システムごとに存在するクラウド監視ツールの仕様差や手順書の変更に影響を受けることなく、オンプレミスとクラウドサービス*を同じ画面で監視することができるため、迅速な状況把握と対処指示、トラブルからの早期復旧が可能になります。

*監視できるクラウドサービス

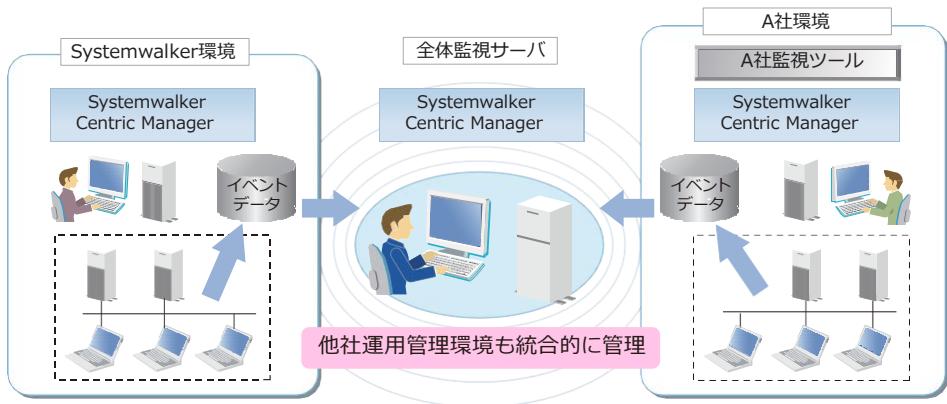
- Amazon Web Services
- Microsoft Azure
- Oracle Cloud Infrastructure

ハイブリッドクラウド環境



他社運用管理製品との連携

他社監視サーバと連携するための連携アダプターを提供します。これにより、細かな設定作業が不要になり、Systemwalkerの高信頼な監視機能を使用して他社の監視環境を含めた統合監視ができます。



リモート操作による対処・復旧*

遠隔地のサーバやクライアントの画面を、管理者の手元の画面から直接操作できます。複数のパソコンを同時に監視したりリモート操作もできます。

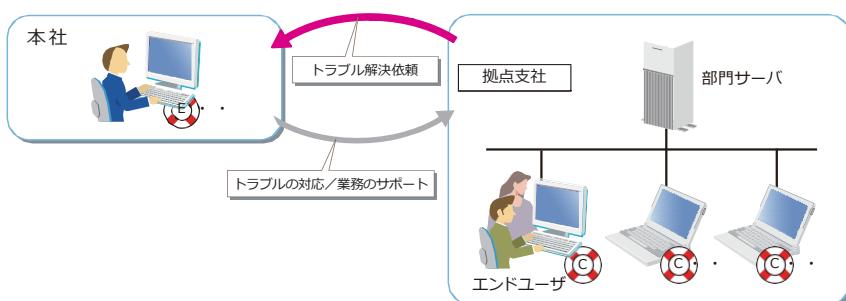
遠隔地のファイル／フォルダに対するリモート操作

- ファイル／フォルダの作成、削除、名前変更
- 管理者パソコンにあるマスターファイルやフォルダとの比較

クライアントのセキュリティと操作ログの記録

- パスワードによる認証
- IPアドレスによる接続制限
- 接続に対する承認
- 操作内容の記録／再生

リモート操作による対処・復旧イメージ



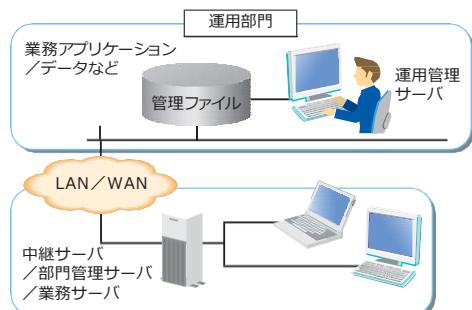
*:本機能は、Fujitsu Software Systemwalker Live Helpとしても提供されています。

自動復旧

特定イベントに対して、対処コマンドをあらかじめ登録し、イベントの発生を契機にコマンドを実行させることで、自動対処が可能となります。

アプリケーションの修正更新を資源配付で自動化

アプリケーションやデータなどの資源を分散するサーバやクライアントにオンライン配付します。配付した版数を管理することで、新しい版数の適用漏れも防止できます。資源は圧縮／分割したり、中継サーバを経由することで、配付時のネットワークやサーバの負荷を軽減できます。



複数のOracleデータベースシステムを1台の管理サーバから一元的に管理

Fujitsu Software Systemwalker for Oracle

[システムウォーカー フォー オラクル]

Oracleの稼働状態監視による異常の自動検出

Oracleに異常が発生する前に予兆を検知したり、異常発生時は素早く通知して業務停止期間を短縮できます。異常は運用管理サーバの監視画面で集中監視します。

- 状態監視 : Oracle のリソース使用量、内部の状態および OracleData Guard の運用状況を監視
- アラートログ監視 : エラー事象が書き込まれた時に異常を通知
- トレースファイル監視 : ファイルの作成／更新時、異常を通知
- プロセス監視 : プロセスが消失するとメッセージを通知

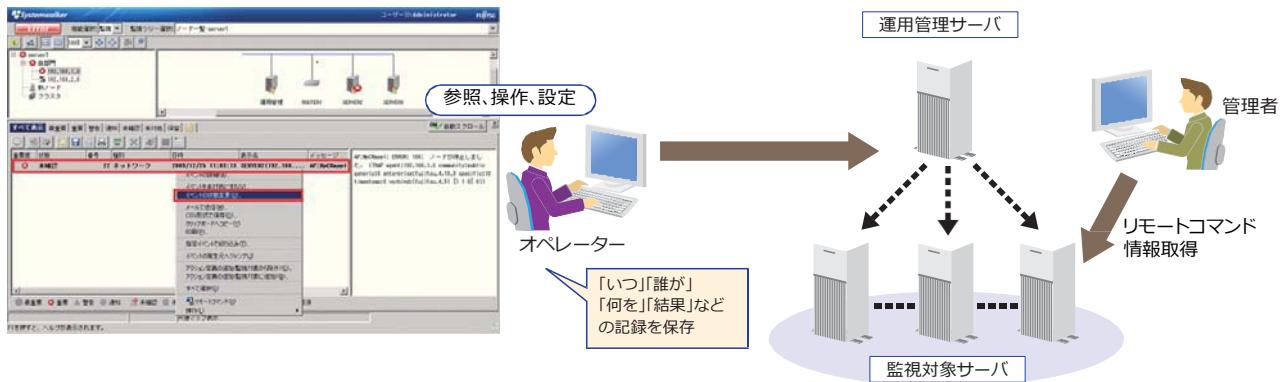
メッセージの意味や対処方法の表示

エラー発生時はメッセージの説明と対処方法を表示できます。また、Oracleで異常が発生して、一次調査を行う場合は、対処方法を画面から選択して実行できますので、Oracleの知識や調査に関するコマンドの知識が少ない管理者でも迅速かつ適切な対応が可能です。

あんしん「セキュリティ対策と高信頼な監視」

うっかり操作や不正な操作を防止

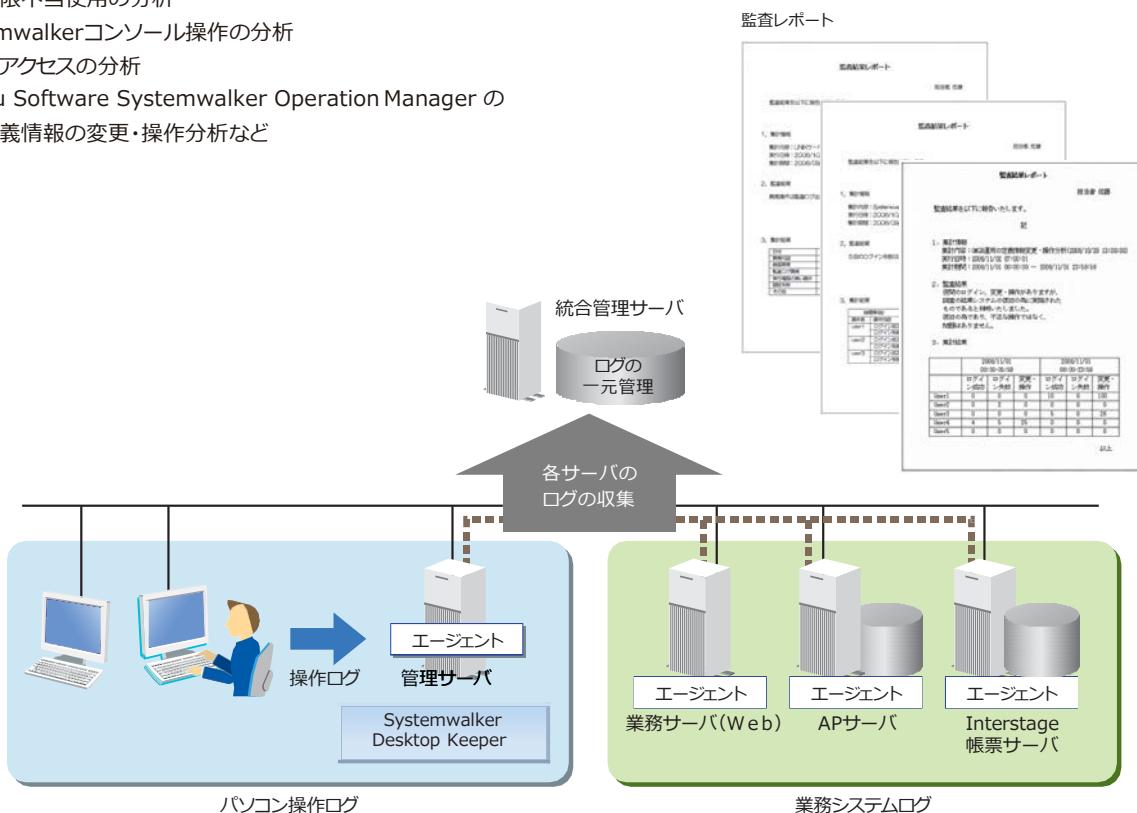
運用者／管理者ごとに必要な最小限の操作だけを許可することで、故意または過失による不正な操作を防ぎます。また、ICカード認証や生体認証（指紋／静脈）を利用することもできます。サーバに対する操作をすべて記録することで、トラブルの原因究明に役立ちます。さらに、システムへ直接ログインしての操作に対してもアクセス権を制御し、システムへのアクセスやファイル操作の監査をすることができます。



監査証跡に必要なログを収集して分析

企業コンプライアンスの要請に応えて、監査証跡に必要な様々なログを一元管理します。各ICTシステムでの問題発生時の追跡や監査時の証明のためにアクセスログの保管が可能となります。また、テンプレートを利用して監査レポートも簡単に作成できます。

- root権限不当使用の分析
- Systemwalkerコンソール操作の分析
- サーバアクセスの分析
- Fujitsu Software Systemwalker Operation Manager の運用定義情報の変更・操作分析など



さまざまなシステム環境で高信頼な監視を実現

高信頼システムの管理

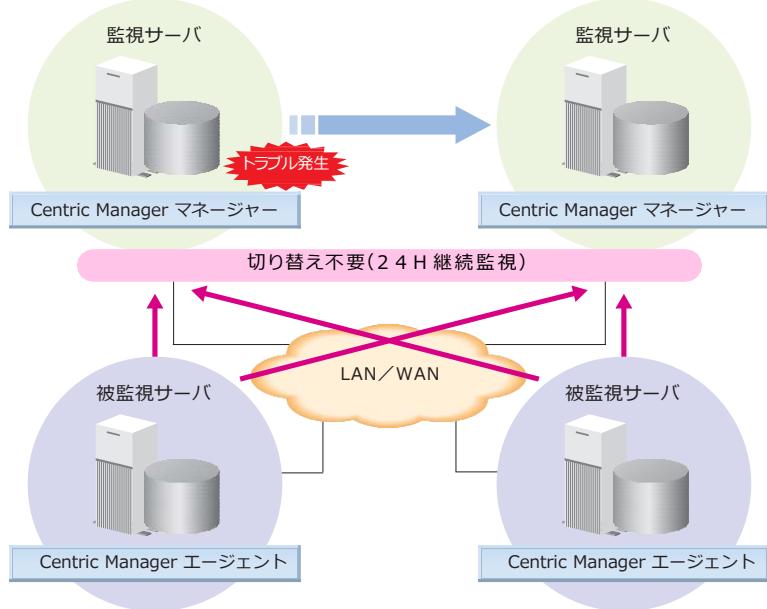
各種クラスタシステムのフェイルオーバーを監視したり、ロードバランサーにより、冗長化／負荷分散されたシステム、二重化された LAN も集中監視し、異常発生を素早く検知します。

運用管理システム自身の高信頼化

運用管理サーバのクラスタ対応や二重化運用で、管理システムのダウンによる、重要なシステムの異常検知遅れやメッセージ抜けを回避し、監視の継続性を高めます。

管理サーバの二重化運用

- 複数の監視サーバで冗長化構成が可能です。1台の監視サーバが停止しても、もう1台の監視サーバで監視を継続します。
- 監視サーバを遠隔地に設置することも可能なので、災害時も安心です。



かんたん「必要な機能をオールインワンで提供」

導入が簡単

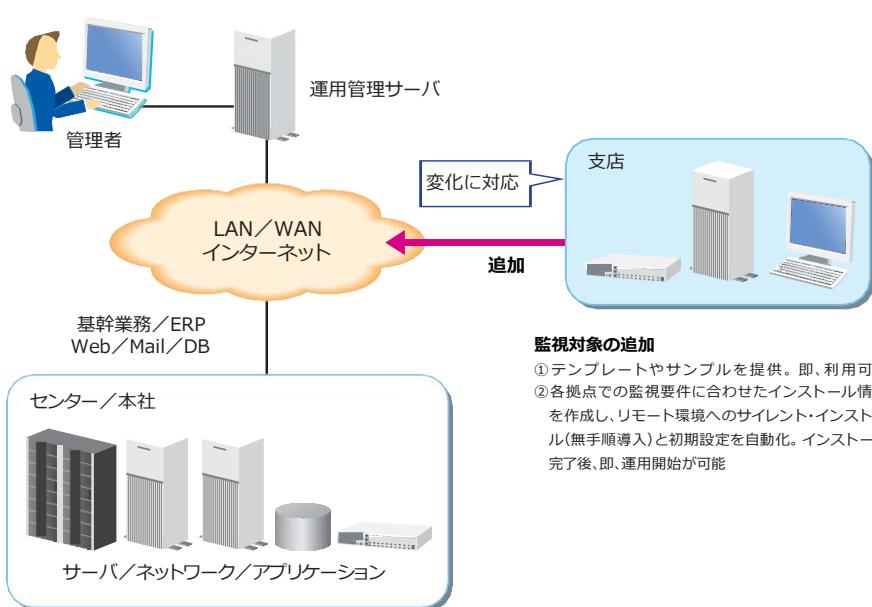
複数機能の一括インストールやアプリケーションの自動配付もできます。

設定が簡単

標準的な監視ポリシーを用意しています。システムの監視ポリシーを選択するだけで設定ができます。また、設定用のテンプレートやツールを技術情報サイトからダウンロードできます。

システム追加も簡単

大規模なシステムでも、業務やプラットフォームなどの単位で監視ポリシーグループを管理できます。追加するシステムもポリシーグループを選択するだけで監視できます。また、お客様／提供サービス(テナント)ごとの管理者に監視ポリシーの設定権限を与え、監視ポリシーを設定できます(マルチテナント監視)。



オールインワンで提供する機能

- 導入設定「資源配付」
- 監視「システム監視／ネットワーク監視／アプリケーション監視／性能監視／構成管理」
- 復旧「障害管理／リモート操作」
- 評価「システム評価」「ログ収集／ログ分析」

製品体系

カテゴリー	製品名	機能概要
システム運用管理	Systemwalker Centric Manager *1	システムの導入／監視／トラブル復旧／評価を支援する統合管理
ライフサイクル管理	Systemwalker for Oracle *1	Oracle データベースの集中監視、トラブル復旧支援
ポイントソリューション*2	Systemwalker Live Help	パソコンやサーバのリモート操作

*1:お客様要件にあわせて Standard / Enterprise 等の各Editionを提供しています。詳細は、Systemwalker ホームページにてご確認ください。

*2:ポイントソリューションとは、Systemwalker Centric Managerに組み込まれている機能のなかで、ニーズの高い機能を切り出して提供しています。

動作環境

製品名	サーバ動作OS	クライアント動作OS
Systemwalker Centric Manager	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Oracle Solaris 11 *1 Red Hat Enterprise Linux 9 Red Hat Enterprise Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 7 AIX *2 HP-UX *2	Windows(R)11 Windows(R)10
Systemwalker for Oracle	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Oracle Solaris 11 Red Hat Enterprise Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 7 AIX *2 HP-UX *2	—
Systemwalker Live Help	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Microsoft(R) Windows Server(R) 2016	Windows(R)11 Windows(R)10

*1:業務サーバのみ提供しています。

*2:インストールレス型エージェント監視で対応します。

対応クラウド環境

製品名	クラウド環境
Systemwalker Centric Manager	FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure FUJITSU Hybrid IT Service for AWS FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Microsoft Azure Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) Oracle Cloud Infrastructure FUJITSU Cloud Service for SPARC

各種ソフトウェアとの連携

ハードウェア監視	サーバのハードウェア監視、ストレージの監視など、各監視ソフトウェアと連携しシステム全体で統合監視できます。(ServerView 他)	データベース・アプリケーションサーバ監視	Oracle*やFujitsu Software Symfoware、Fujitsu Software Interstage アプリケーションの状態も統合監視できます。
ウイルス監視	ウイルス監視ソフトウェアと連携しウイルスの検知も統合監視できます。	ERPの監視	SAP CCMSと連携し、SAP ERPの異常もシステム全体で統合監視できます。また、Oracle E-Business Suiteも統合監視できます。

* Oracle の監視には、Systemwalker for Oracleが必要です。

サービス&サポート

FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDesk	ハードウェア/ソフトウェアに関するお客様のさまざまな問題をサポートセンターの専門技術者が一括で24時間365日サポート、お客様の運用負荷を軽減する、月額払いの運用・保守サービスです。
--	---

環境への取り組み

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/>



環境貢献ソリューション Fujitsu Software Systemwalker Centric Manager

* Microsoft、Windows、Windows Server、Azureまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの、米国および他の国における商標または登録商標です。

* Oracle Solaris は Solaris、Solaris Operating System、Solaris OS と記載することがあります。

* Oracle(R)、Java、およびOracle Cloudは、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

* 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

* 本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記しておりません。

■このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。